

弓道教室を開催

枕崎市弓道連盟では、日本古来の武道である弓道を広く市民に普及し、体力の増進や集中力の養成、認知症の予防などに役立てることを目的として弓道教室を開催します。

日時 火・土曜日(週2回)
午後8時～10時

※5月16日(火)から教室を開始します。

定員 10人 老若男女問いません。

その他 会費は無料で道具は弓道連盟で用意します。

申込み先

市総合体育館 TEL72-1116
枕崎市弓道連盟 折口忠夫(住吉町78)
TEL72-9402



体育指導委員が決定 新メンバーをよろしく

第1回定例の枕崎市体育指導委員会が4月14日、市総合体育館会議室で開催されました。

今年度は2年間の任期が満了し、新メンバーに2名13名が再任され、新たな体制で本市のスポーツの振興に取り組みます。

なお、引き続き、委員長に竹中和幸氏、副委員長に中原重信氏に決まりました。市民のみなさんよろしくお願いたします。

 吉松和宏 (31歳・別府西町)	 柿元貴秀 (30歳・立神北町)
スポーツ 卓球 地域部会 立神部会 専門部会 企画部	スポーツ 陸上・長距離 下一周駅伝10回出場 地域部会 別府部会 専門部会 指導部

【新任】

委員長 竹中和幸(桜山・金山部会) 広報部、副委員長 中原重信(別府部会) 企画部、立神部会部長 立石幸徳(広報部)、立神部会部長 吉嶺友博(広報部)、別府部会部長 白沢修一(指導部)、桜山・金山部会部長 松崎秋新(指導部)、企画部部長 新屋敷拓(枕崎部会)、広報部部長 下迫正悟(桜山・金山部会)、指導部部長 猪谷清一(枕崎部会)、酒瀬川美鈴(桜山・金山部会) 企画部、俵積田尚子(枕崎部会) 広報部、小湊菊子(立神部会) 指導部、川野浩明(枕崎部会) 企画部

枕崎市観光協会表彰 今年は「ARTS」に ～枕崎のPRに貢献



きばらん海でのコンサート。毎年、祭りの最後を盛り上げます。

市観光協会では、本市の観光振興に尽力されている方や団体に対し、3年前から表彰を行っています。今年は市内の人気バンド「ARTS」(アーツ)が表彰され、4月25日に行われた同協会総会の中で表彰状が贈られました。

第1回はかつお節製造の茶屋久徳さんと薩摩酒造明治蔵が、第2回は「さつま黒潮きばらん海」に尽力されている町頭与志郎さんが表彰を受けられています。

「ARTS」は、音楽活動を通じて、県内外での枕崎のPRや知名度アップに貢献しており、また「おたのび海」のコンサートへも毎年出演し、祭りを盛り上げています。

代表の井上良久さんは、この表彰を受け、「たいへん光栄なこと。僕たちみだいなバンドでも、枕崎に人を呼びたいということで地元貢献でき、それが評価されたというのがうれしい」と語られました。

今年で結成15年目を迎える「ARTS」は、今年も県外でのコンサートを行うなど、精力的に活動しています。3月には15周年記念DVD「TIME FLIES」を発売。90分のライブドキュメンタリー映像や約100分にわたる写真集など、これを見れば「ARTS」の魅力を堪能できます。



テレビ収録の様子

市観光協会では、本市の観光振興に尽力されている方や団体に対し、3年前から表彰を行っています。今年は市内の人気バンド「ARTS」(アーツ)が表彰され、4月25日に行われた同協会総会の中で表彰状が贈られました。

第1回はかつお節製造の茶屋久徳さんと薩摩酒造明治蔵が、第2回は「さつま黒潮きばらん海」に尽力されている町頭与志郎さんが表彰を受けられています。

「ARTS」は、音楽活動を通じて、県内外での枕崎のPRや知名度アップに貢献しており、また「おたのび海」のコンサートへも毎年出演し、祭りを盛り上げています。

代表の井上良久さんは、この表彰を受け、「たいへん光栄なこと。僕たちみだいなバンドでも、枕崎に人を呼びたいということで地元貢献でき、それが評価されたというのがうれしい」と語られました。

今年で結成15年目を迎える「ARTS」は、今年も県外でのコンサートを行うなど、精力的に活動しています。3月には15周年記念DVD「TIME FLIES」を発売。90分のライブドキュメンタリー映像や約100分にわたる写真集など、これを見れば「ARTS」の魅力を堪能できます。

「カッソのおいしい食べ方」をご覧ください。

KTS鹿児島テレビで放送中の「Qでん百科」(九州7局ネットで放送)の収録が4月7日、市内のすし店で行われました。

主に女性向けの生活情報番組で「九州を食べる」枕崎で聞きたい鯉の食べ方」と題し、5月12日午前11時から放映されます。



投稿



第15回グレンツェンピアノコンクール
西日本大会で銀賞、銅賞を獲得

藤井芽生さん(立神小6年)
竹井文子さん(枕崎中1年)

投稿者: 小川勝徳さん



金山小学校児童が 環境学習の成果を冊子に

環境学習に取り組んでいる金山小学校の児童が今年3月、学習の成果をまとめた冊子『エネルギー問題を考え、行動しよう わたしたちにできること』を作成しました。

「地球にやさしい生活をめざして」をメインテーマとして、1・2年生は生活科の時間、3・4年生は5・6年生は総合的な学習の時間に、それぞれが学んだり調べたりしたことをまとめています。

このうち、5・6年生は、学校に設置している太陽光発電の発電量の観察や、地熱発電などの発電との比較を行い、それぞれの長所・短所について考察。ごみ問題やリサイクルについても調べました。当時5年生で現在6年生の5人にお話を聞いたところ、下迫優衣さんは、「太陽光発電は二酸化炭素を出さないからいい。これから増えてほしい」。ごみ問題を調べた牟田健人君は「いらなくなった物を捨てないで、必要な人にあげて、ごみを減らしたい」と話していました。

また、リサイクルについて調べた沖園晃規君は、「給食で飲んだ後の牛乳パックの追跡調査をしたら、焼却処分していることがわかった。4月から全校児童で飲んだ後のパックを洗って、リサイクルセンターに持っていきます」と話し、学習が早速生かされているということでした。

最後に5人から「市民のみなさんも、電気を付けっ放しにしないなど、省エネに取り組んでください」とのメッセージがありました。



それぞれが作ったページを開く6年生児童